



オランダでのフィジオセラピストの仕事 6

外傷性頸部痛症候群（むち打ち症）

平出康彦

Thim van der Laan Hogeschool voor Fysiotherapie
サッカークラブ「FC Utrecht Academy」メディカルスタッフ
サッカークラブ「J-Dream FC」コーチング & メディカルスタッフ

Physiotherapists in Holland — 6

WAD（Whiplash Associated Disorders）

HIRADE Yasuhiko

Thim van der Laan Hogeschool voor Fysiotherapie
Medical staff, FC Utrecht Academy
Coaching&Medical staff, J-Dream FC

要約

今回紹介するのは、外傷性頸部痛症候群（むち打ち症）です。スポーツ選手だけでなく、自動車事故や外傷などによって、一般の人たちにも起こりうる障害。

その、むち打ち症における診断方法やクリニカルリーズニングの実際を紹介します。

また、評価に欠かせない、頸部の靭帯の機能評価である、神経学的鑑別テストと上位頸椎機械的不安定性テストの方法も動画でわかりやすく解説。

このアーティクルの著作権は著者と編集工房ソシエタスに帰属します。著作権の侵害にご注意ください。
法で認められた引用については、出典を下記のように記して下さい。

平出康彦：JWSM, Article No. JWSM2014.PT007

その他、このアーティクルに関する著作権についての問い合わせ先は下記にお願いします。

©2014 HIRADE Yasuhiko and Editorial Office Societas. All rights reserved.

Contact to the Author (s) and us info@mmssm.jp

外傷性頸部痛症候群 (むち打ち症)

平出康彦

Thim van der Laan Hogeschool voor Fysiotherapie
サッカークラブ「FC Utrecht Academy」メディカルスタッフ
サッカークラブ「J-Dream FC」コーチング & メディカルスタッフ

はじめに

今回の記事では、オランダ理学療法教育における「外傷性頸部痛症候群(むち打ち)」について、現在私が通っている Thim van der Laan 理学療法士養成校での授業の進め方やクリニカルリーズニングの大まかな流れをご紹介します。

むち打ちの概要

自動車事故やスポーツ、労働に

おける外傷の後遺症としての頸部周辺の愁訴は外傷性頸部痛症候群、通称「むち打ち」と呼ばれます。英語名では「WAD (Whiplash Associated Disorders)」と表記されます。

突然の強い衝撃によって、頭部が前後の動きを強く強制されることが受傷機序とされ、救急外来を受診する患者は世界的にみて年間300人／10万人と推測されています。

症状は受傷直後に表れないことも多く、大半は6カ月以内に治

癒するとされていますが、慢性化してそれ以上の日数を要することもあります。

授業プロセス

今回の「外傷性頸部痛症候群(むち打ち)」は、私の学校の授業では8週間単位のテーマである「筋骨格系」のうち2週間分を用いて扱われます。正確には1週目は頸部について一般的な内容を扱い、2週目で外傷性頸部痛についてより深くフォーカスして扱います。

ここで重要になってくる技能は、スクリーニング・診断プロセス(図1、次頁)内の「神経学的鑑別テスト」と「機械的不安定性テスト」です。これらを用いることで、ドクターから患者が送られた後であっても、重篤な病態の疑いがあるとしてドクター・もしくは他のスペシャリストに紹介する

形をとります。

診断プロセス

①スクリーニング

ダイレクトアクセスで患者がフィジオセラピストのもとを訪れた際は、まずスクリーニングで理学療法の適応かどうかを鑑別します。頸部のレッドフラッグはもちろん、神経学的所見や、機械的な頸部の不安定性がみられた場合は、ドクターに送ることになります。

ドクターの紹介でフィジオセラピストのもとを訪れた場合も、問診の過程のなかでレッドフラッグや神経学的所見・頸部不安定性を疑わせる兆候・症状がないかどうかに気を配り、必要があれば評価していきます(図1)。

また、患者のWADの程度をカテゴリ分けするための指標として、ケベック州特別調査委員会が

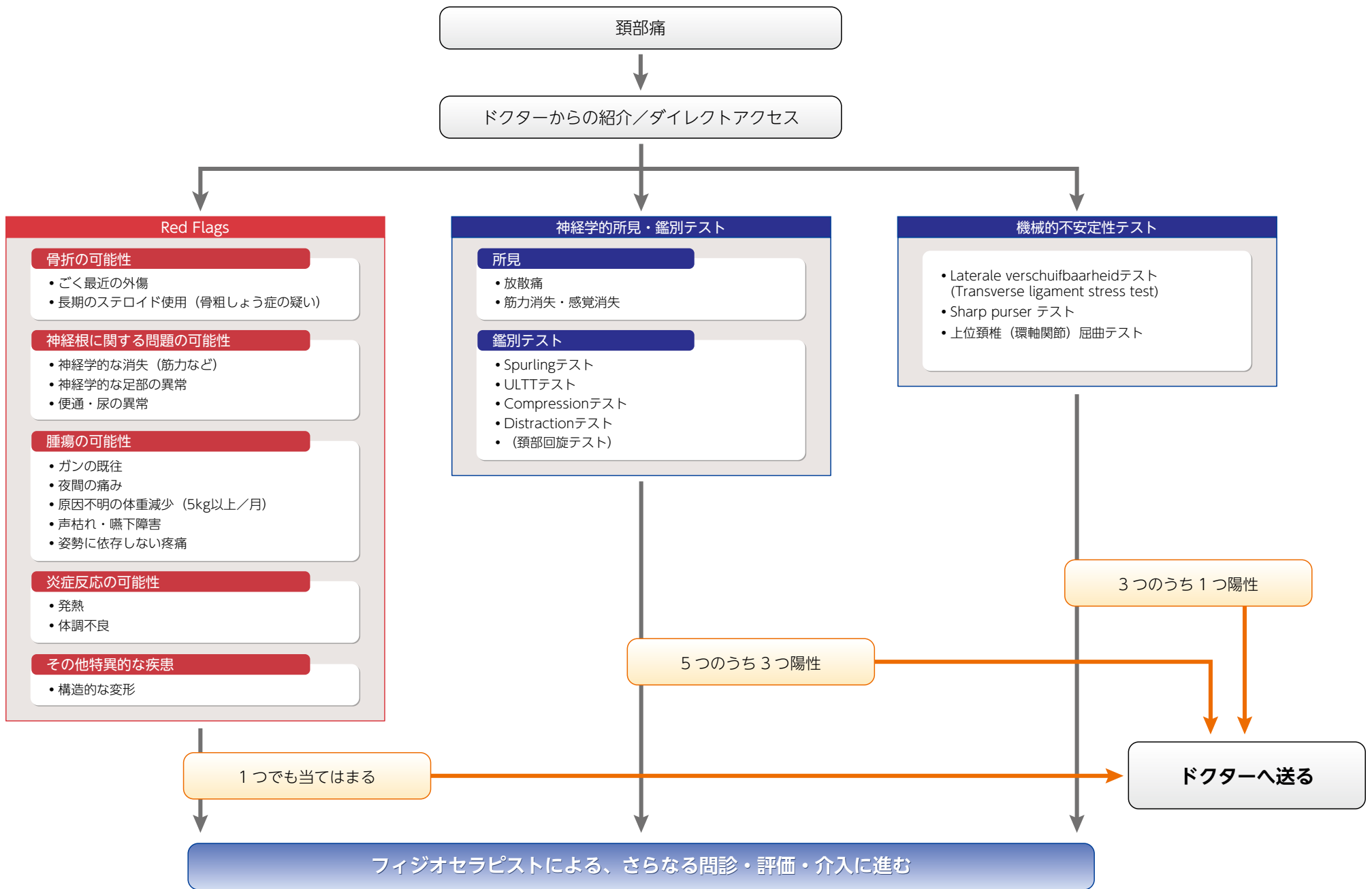


図1 スクリーニング・診断プロセス